世の中 安穏なれ 仏法 広まれ

「善通寺盆法要」のお参りをご縁に 浄土真宗という 真実なる教えを示され た親鸞聖人の苦難に満ちたご生涯を映像と共に味わってみませんか。



じょうげん ※ 主に、親鸞聖人が承元の法難 [1207 年 専修念仏の停止]によって越後(現新潟県)に流罪となり、罪が解かれた後、 越後から善光寺を経由して関東へと歩まれた苦難の人生を、そのご旧跡を辿りながら味わいます。今も聖人の念仏の息 吹が残り、伝承されているご旧跡の数々は、何を私たちに語り、何を気づかせようとされているのでしょうか。 パワーポイン トを利用しながら、ご法義を味わっていきます。写真や映像、音声を交えながら進めますので、興味深く、楽しみながら味 わって頂けると思います。 「善通寺盆法要 令和二年八月十三日~十五日〕

親鸞聖人 (鏡御影)



住蓮山安楽寺(京都



居多ケ浜(新潟)



善光寺(長野)





恵信尼公 (龍谷大学図書館蔵)



9:00

9:00

11:00

13:00

9:00

◆浄土真宗にとっての「盆法要」とは、

最初に、何故、親鸞聖人は世間一般にいわれる「盆法要」を先祖供養や追善供養と見な されていないのか。その意味をご法義に照らして確認しておきましょう。

11:00 ◆「承元の法難」のきっかけとは、

念仏停止の院宣(命令)を下した後鳥羽上皇(時の権力者)の逆鱗に触れることになったきっ かけは、女官二人(松虫姫・鈴虫姫)の出家ともいわれています。その出来事を今に伝える 京都安楽寺を尋ねてみましょう。

13:00 ◆流罪地、越後のご旧跡とは、

◆聖人と「海」との出遇いとは、

◆善光寺に伝わるご旧跡とは、

◆聖人と善光寺勧進聖の関係性とは、

◆聖人の妻である「恵信尼公」とは、

◆関東のご旧跡に学ぶべきこととは、

上陸の地、居多ケ浜をはじめ、居多神社、五智国分寺(竹ケ内草庵)、国府別院(竹ケ前草 **本)、光源寺などのご旧跡と、安芸の地にも関連するエピソードなどを味わってみましょう。**

初めて「海」を目にされた聖人が、何故、願海・誓願海・生死海・群生海など多くの海という文 字を残されているのか、そのお心を尋ねてみましょう。

善光寺は誰でもお参りができる自由な信仰のお寺、女人救済のお寺といわれています。親 鸞聖人は、その善光寺に、どのような足跡を残されているのでしょうか。

何故、真宗高田派専修寺(栃木県真岡市)のご本尊は、善光寺と同じく「一光三尊仏」である のか、また、「『御絵伝』(入西観察)」や「安城御影」に描かれた聖人の調度品などとの関係 性を考えてみましょう。

「ゑしんの里記念館」や「恵信尼公御廟所(約 750 年間、誰のものとも知れず建っていた恵信尼公の 石塔(お墓)が昭和32年に寿塔と認定された)」を辿りながら、聖人の良き理解者であり、手助け 的存在でもあった恵信尼公の面影とお人柄に触れてみましょう。

ここでは、ご旧跡の中でも稲田の西念寺(主に『教行信証』ご執筆の地とされる)や一光三尊仏 をご本尊とする高田派専修寺、さらに聖人のご子息善鸞上人義絶の事実に異なる立場を示 される「願入寺」(茨城県 大洗町)などを尋ねてみましょう。

『御絵伝』の「洛陽遷化」に描かれているご往生や荼毘所のご旧跡を訪ね、そのご遺徳を偲ん でみましょう。

13:00

11:00

◆親鸞聖人のご往生に学ぶとは、



親鸞聖人ご往生の場面

善通寺 (浄土真宗本願寺派)

広島市南区南蟹屋 1-6-11

tel 082-281-2779

{講師} 佐々木敏夫師(釈誠叡)





月

十三日(木

月



